



Florists in Europe
2.GERMANY

上品なセンスで人気の、花とガーデンのお店

Blumen-und Gartenkunst

ブルーメン・ウント ガルテンクンスト



店名は、「花と庭のアート」という意味。

その通り、花とガーデン用植物の両方に力を入れているお花屋さんです。

オーナーのひとり、アンドレアス・トーマス・トゥンガーさんはフローリスト、

もうひとりのオーナーであるトーマス・トゥンガー・シュヌーアさんはガーデンデザイナー。

その2人と共に総勢26人のスタッフが、センスのいい花束やガーデンデザインを手がけています。



白い花のコーナーでブーケを制作中。

ベルリン近郊からやって来た、 フレッシュで特別な花が香る店内

入口の扉を開けると、ふっとよい香りが漂います。お花屋さんならどこでもそうですが、ここのお店は格別。なぜなら、ベルリン近郊のポツダムにあるバラ園から取り寄せた、香り高いイングリッシュローズが並んでいるのです。こうした特別な花も扱っているのが、このお店の魅力のひとつです。

店内は3つの部屋に分かれていて、手前がお花、奥の2つがガーデンコーナーです。花が生けられてるのは、重厚でクラシカルな花器。花と共に飾られたキャンドルスタンドなども商品で、上品な雰囲気をかもし出しています。ガーデンコーナーには、デザインの良いガーデングッズも豊富。まるで散歩するように、ゆっくりと見てまわりたいお店です。



1.ベルリン近郊のポツダムからやって来たバラ。2.花と一緒に贈りたい雑貨も豊富。3.観葉植物とガーデングッズが並ぶガーデンコーナー。4.人気のアスパラガスはトレーに並べて立体的にディスプレイ。5.オンシジウムとトウガラシに、黄色い雑貨を合わせて。

6.スカビオサやフレモコウなど繊細な花を束ねたブーケ。7.上のブーケとほぼ同じ花を、平行に生けたアレンジメント。

Q いつも気をつけていることは？

A 花の品質と持ちのよさです。そのため、できる限りベルリン近郊からフレッシュで質のいい花を仕入れているわ。

Q ワークショップや講習会なども行っていますね。

A もともと花、ガーデン、講習会という3つの柱をコンセプトにオープンしているの。リース作りなどのワークショップのほか、花農家を訪ねたり、庭園ツアーも行っているのよ。

Q オープンから14年、お店の規模が大きくなっていますね。

A 最初は3人でオープンしたお店だけど、常連のお客様が多く、現在26人のスタッフが個人のお客様やオフィス、イベントの仕事で働いているわ。

SHOP DATA



Blumen- und Gartenkunst

Address: Alt-Moabit 21/22
10559 Berlin Germany

Tel: +49 (0)30 39 03 00 88
Fax: +49 (0)30 39 03 00 89
Open: 月・木8:00~18:30 火・水・金
9:00~18:30 土8:00~15:30 日
10:00~13:30

http://www.
blumen-und-gartenkunst.de
info@blumen-und-gartenkunst.de

Arrangement

フローリストたちのスタイル Part2

作業のしやすさなども考慮したフローリストたちの服装です。



PARIS
MARIE pour 360°
P.12



PARIS
Rosebud
P.28



PARIS
Eric Chauvin
Un Jour de Fleurs
P.8

GERMANY
Blumen- und
Gartenkunst
P.54



GERMANY
Anna Blume
P.46



PARIS
FREDERIC
GARRIGUES
P.34



PARIS
Stanislas Draber
P.22



PARIS
Rosebud
P.28



PARIS
Stanislas Draber
P.22



PARIS
FREDERIC GARRIGUES
P.34



GERMANY
Je länger, je lieber
P.50



BELGIUM
Bloembinderij
Kris Naudts
Sabine Boone
P.100



PARIS
Eric Chauvin
Un Jour de Fleurs
P.8



GERMANY
Calla Fleur
P.40



BELGIUM
Annick Van Wesemael
BLOEMEN EN ACCENTEN
P.92



PARIS
lilyvalley
P.16

GERMANY
Blumen- und
Gartenkunst
P.54



BELGIUM
De Egelantier
P.96

